

(参考1)

H I V／エイズの基礎知識

◆エイズとは？

- ① エイズ（A I D S = Acquired Immunodeficiency Syndrome）は、日本語にすると「後天性免疫不全症候群」といい、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）というウイルスに感染して起こる病気です。

H I Vに感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、また、数週間以内に風邪に似た症状が出るがありますが、無症状なことが多く、H I V検査を受けなければ感染しているかどうかは分かりません。

自覚症状のない時期（無症状期）が数年続き、さらに進行すると病気とたたかう抵抗力（免疫）が低下し、本来なら自分の力でおさえることのできる病気（カンジダ症、ニューモシスティス肺炎等）を発症するようになります。ある一定期間自覚症状のない時期が続くことが特徴です。

- ② H I Vの感染経路は限られているので、感染を予防することができます。

感染経路 ○性行為（異性間・同性間）による感染

○血液を介しての感染（注射器具の共用など）

○母親から赤ちゃんへの母子感染

* ポイント（伝えたいメッセージ）

- ・適切な対策でH I V感染が防げること。
- ・予防のためには、感染経路についてきちんと理解すること。予防のためにはどのような行動が大切かを理解すること。
- ・ひとごとではなく、自分のこととしてこの病気を考えることが大切。

◆世界と日本のエイズ／愛知県の現状

- ① 国連合同エイズ計画（UNAIDS）の発表によると、2023年末現在で世界には約3,990万人のH I V感染者とエイズ患者がいます。
- ② 日本における2024年のH I V感染者及びエイズ患者の新規報告数（速報値）は、1000件です。2022年まで6年連続での減少傾向でしたが、2023年以降は増加に転じ、予断を許さない状況です。
- ③ **愛知県では、2024年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数(確定値)は72件であり、2020年以降は80件前後の報告が続いています。**

* ポイント（伝えたいメッセージ）

- ・日本では、1日当たり約3人の新たな感染が報告されていること。
- ・H I V感染が**愛知県でも**身近な問題であること。

◆検査と治療について

- ① 検査：H I V検査は、**愛知県内**の保健所等で「無料・匿名（名前を言わずに）」で受けることができます。
- ② 治療：いまのところ、からだの中のH I Vを完全にとりのぞく治療法はありません。ただし、医療の進歩によって、発症する前に多剤併用療法を始め、きちんと服用すれば、発症を遅らせ、他の慢性疾患と同じように定期的な病院で、コントロールが可能になっています。つまり、早期発見、早期治療が重要です。

* ポイント（伝えたいメッセージ）

- ・「H I V検査は、保健所等で無料・匿名で受けることができる」のに、その情報を知らない人が多い。みんなに知ってもらい、もっと活用してほしい。
- ・検査を受けることは、自分のためにも、相手のためにも大切なこと。自分のからだの状態を知ることは、自分をケアしていること。
- ・感染しても、早期に分ければいろいろな治療方法が可能になる。仕事も勉強も続けることができる。また、さまざまな専門家やN G Oが支えてくれ、一緒にH I V／エイズと向き合ってくれる。一人ではない。
- ・でも、私たちの心に、「エイズは怖い」という気持ちが強く、H I V感染者への偏見・差別はまだ根強く残っている。感染者・患者も周囲からの偏見・差別が怖く、なかなかまわりに本当のことを告げることができない。一人ひとりがH I V感染症とエイズを正しく理解し、この課題と向き合うことによって、偏見・差別が解消され、みんなで話し合える場をつくることができる。

◆世界エイズデーとレッドリボンについて

- ① 世界エイズデー：世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日が“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定められました。この日を中心に世界各地でエイズ予防・支援のためのイベントなどが行われています。
- ② レッドリボン：“レッドリボン（赤いリボン）”は、エイズに関する理解と支援のシンボルマークです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。
このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えることが大切です。